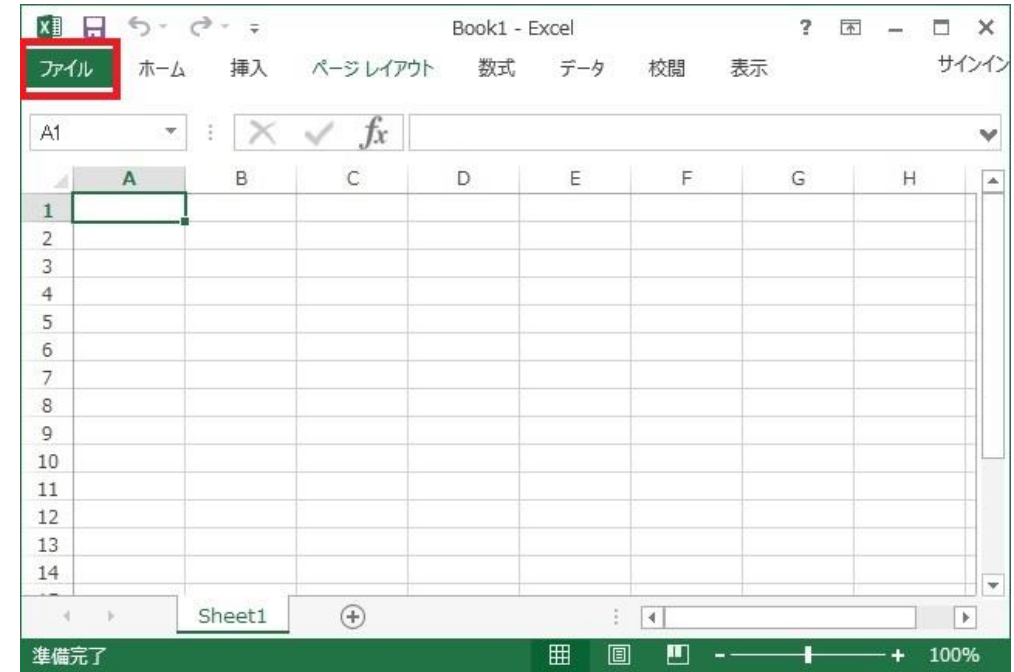


VBE（Visual Basic Editor）の準備

プログラムの入力にはVisual Basic Editorで行います。

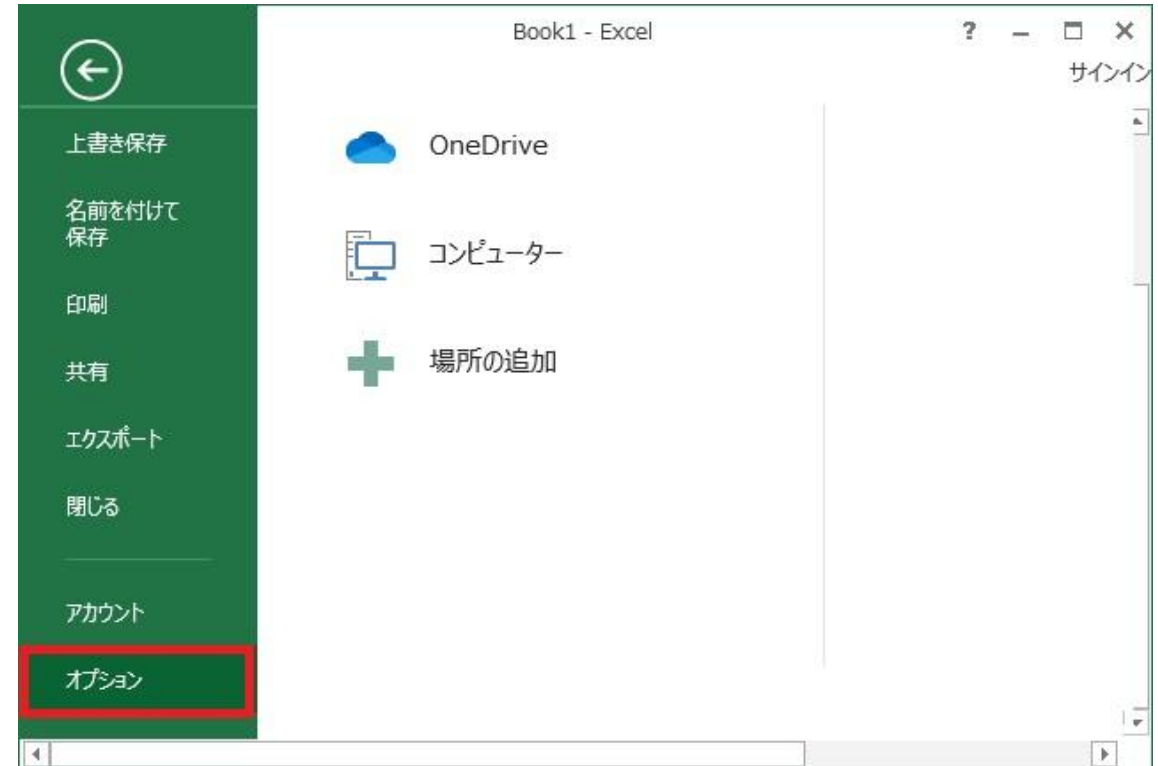
早速VBEを使えるようにしましょう。

- メニューより[ファイル]をクリックします



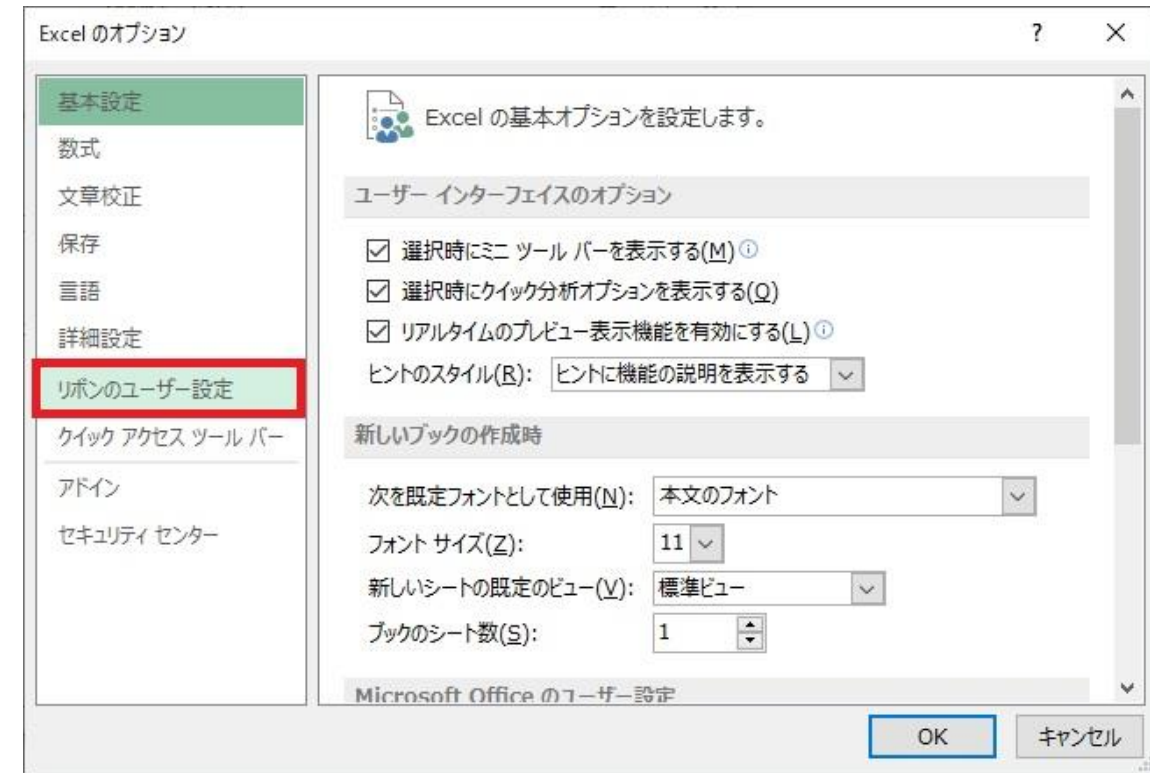
VBE（Visual Basic Editor）の準備

左メニューより[オプション]をクリックします。



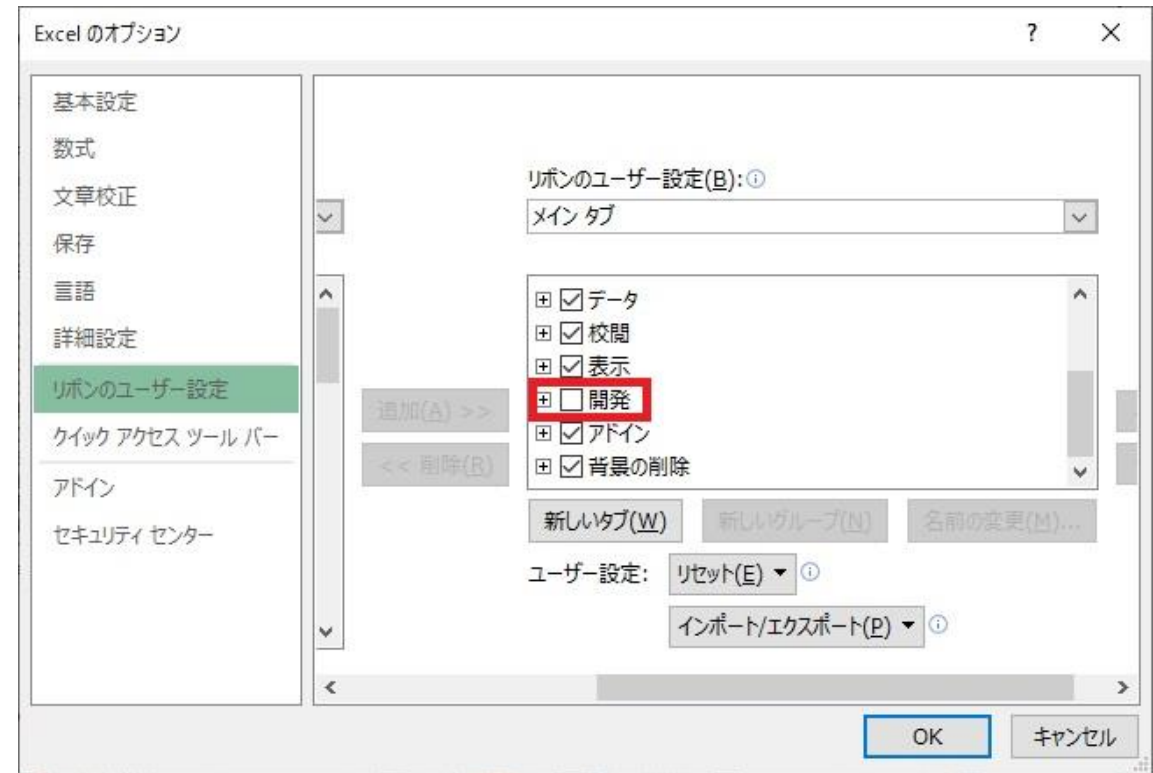
VBE（Visual Basic Editor）の準備

Excelのオプションより[リボンのユーザー設定]をクリックします。



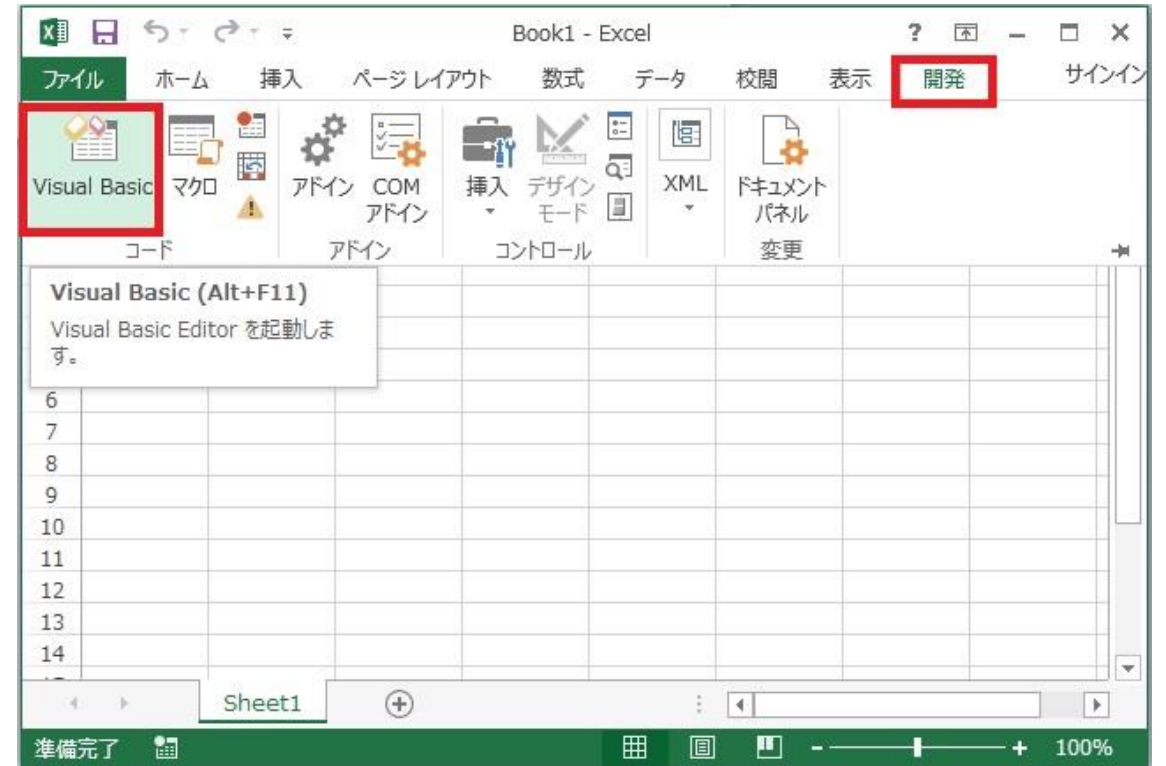
VBE（Visual Basic Editor）の準備

右の[開発]のチェックボックスをクリックしてチェックします。

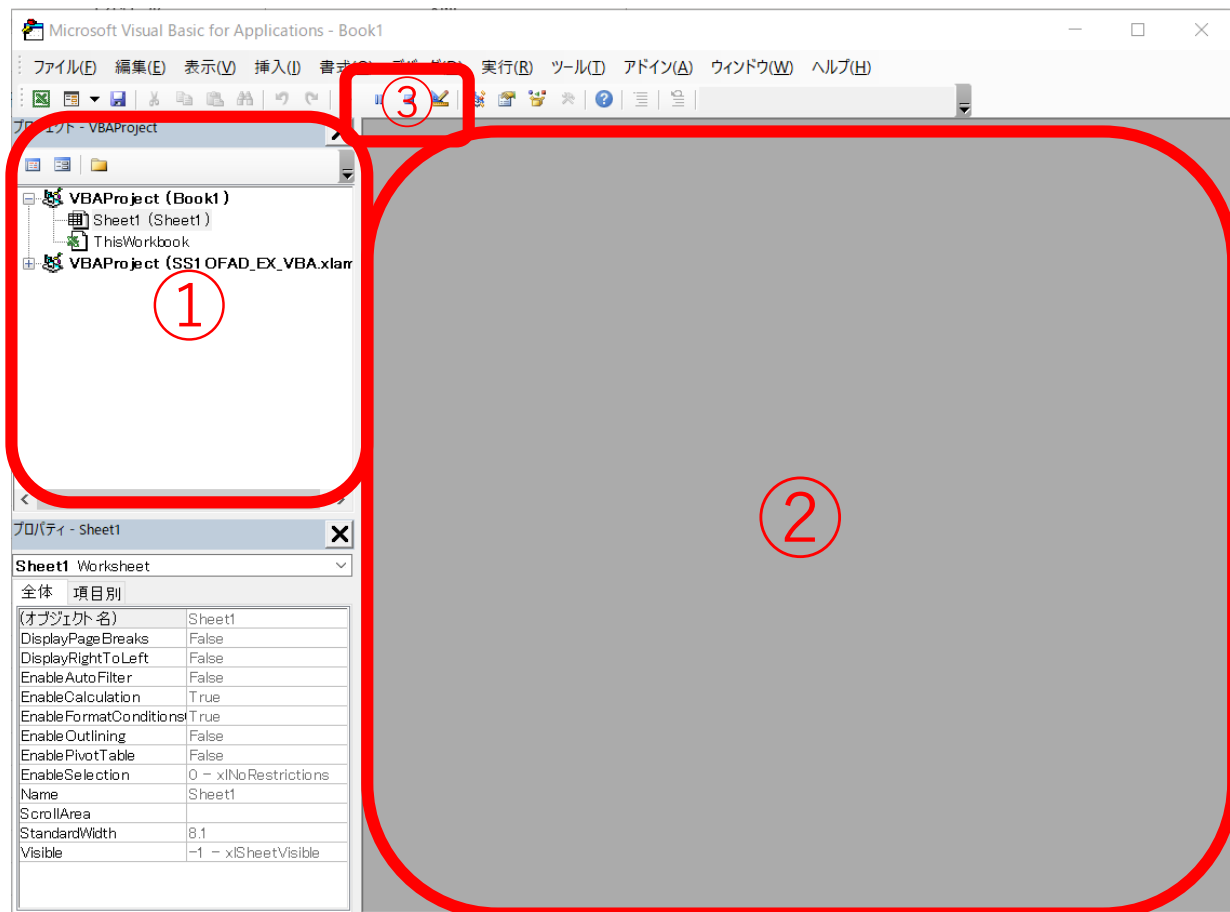


VBE (Visual Basic Editor) の準備

メニューに[開発]のタブが追加されるのでクリックして[Visual Basic]をクリックします



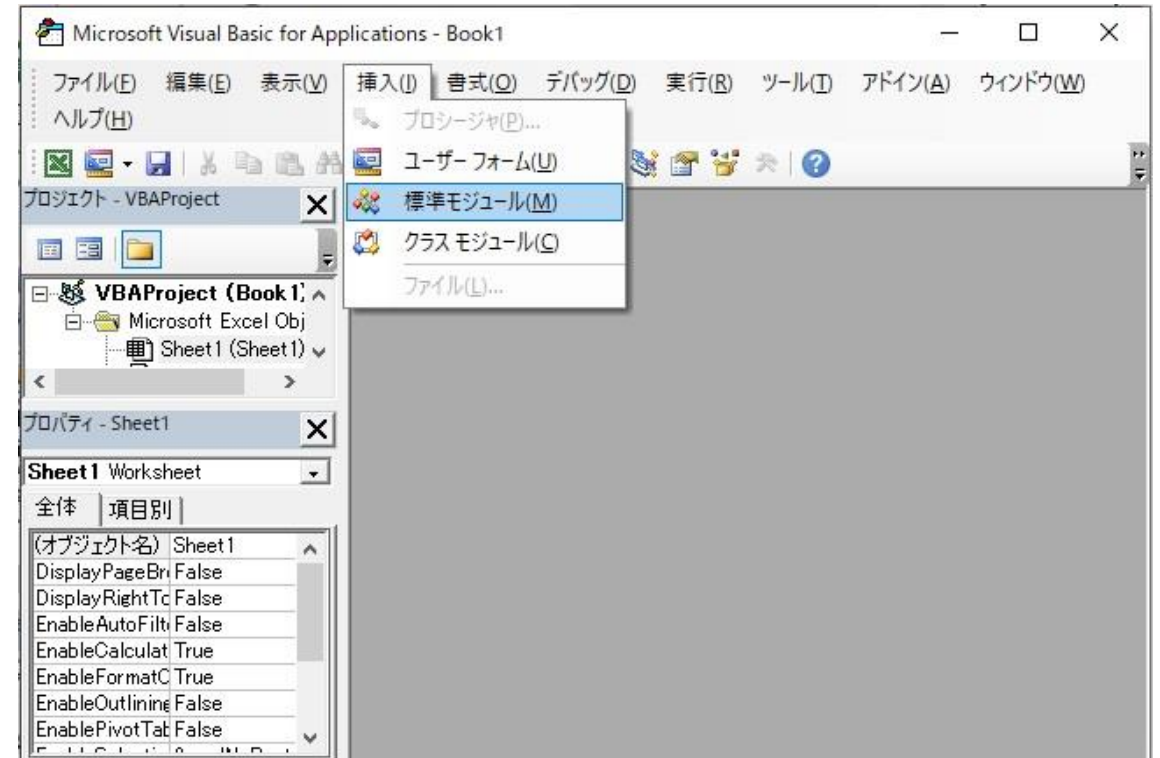
VBEの画面と機能の説明



- ①プロジェクトエクスプローラー
Sheetやモジュール（プログラムを記述するファイル）の管理を行う場所です
- ②モジュール記述スペース
ここにモジュールを開いて表示、実際にプログラミングを行うスペースになります
- ③実行・停止ボタン
プログラムのデバッグに使うボタンです

VBE（Visual Basic Editor）の準備

メニューより[挿入]→[標準モジュール]をクリックします。



VBE（Visual Basic Editor）の準備

Module1が自動生成されます。
これがVBEの画面になり、ここに
プログラムを書いていきます。

